

報道関係者 各位

「予防接種費用償還金交付決定通知書」誤送付について

保健福祉局健康危機管理課において、「予防接種費用償還金交付決定通知書(6月分)」17名分を送付した際、封筒記載の氏名と異なる申請者の通知書を封入し、個人情報(申請者氏名・接種ワクチンの種類、交付金額)を含む文書が誤送付されていたことが判明しました。

関係の皆様にご迷惑とご心配をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。
今後は、チェック体制を見直し、再発防止に向けた取り組みに鋭意努めます。

記

1 経緯・概要

- ・福岡県外等で予防接種法に基づく定期の予防接種を受け、本人(保護者)がその費用を負担した場合、市に申請し払い戻しを受けられる。
- ・6月27日、健康危機管理課職員が手作業により、17名分の通知書を封入し、発送。
- ・6月30日、通知書を受け取った方より、健康危機管理課へ「他人の通知書が封入されている」との御指摘の電話があり、誤送付が判明。
- ・同日、通知書を送付したすべての方に電話連絡をとり、経緯を説明した上で、謝罪。送付文書の返送をお願いした。

【7月2日(12時)時点での確認状況】

- ・送付した17件のうち、5件が開封、12件が未着
- ・開封した5件のうち、1件が本人宛、3件が誤送付、1件が不明

2 誤送付の原因

封入を担当した者が、当該文書を個人宛の通知書ではなく、共通の内容のお知らせ文書と誤認識し、封入時に宛名を確認せずに封緘したため。

3 今後の対応

送付文書を回収するとともに、正しい通知書を送付する。

4 再発防止策

- (1)個人情報を含む文書の封入を行う際には、複数人で確認し、封緘することを徹底。
- (2)可能なものについては窓あき封筒を活用するなどの対策を実施。

<問い合わせ先>

保健福祉局健康危機管理課
担当:重岡(課長)、上野(係長)
電話:093-582-2090